学校番号	３００７

令和８年度　基礎学習

教科	基礎学習	科目	基礎学習（国語）	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書							
副教材等	国語表現ナビ　（浜島書店出版）、字義で覚える常用漢字（浜島書店出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に着けることを心がけましょう。
・「読む能力」を向上させましょう。
・コミュニケーションのための「話す・聞く能力」と「書く能力を」を高めましょう。
・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働する活動を行います。
・宿題、提出物について、丁寧に、間違いなく仕上げましょう。期日までに提出することは厳守です。
・積極的に授業、課題に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
(2)　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。
(3)　言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基礎となる語彙力を増やす。 ・文の構造、組み立てを学ぶ。	・自身の文章を校正し、より良いものにすることができる。 ・お互いに課題を評価し合い、分かりやすい言葉で情報共有ができる。	・言語活動の重要さを知り、粘り強く自身の問いを深め、積極的に他者と共有しようとしていうる。 ・自身の学習を評価し、改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末にＡＢＣの３段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	一文を意識する	●て・に・を・は(助詞)を意識する ●一文を作る	a:助詞の働きを理解し、一文を構成できる。 b:適した助詞を使い分けることができる。 c:他者とお互いの文を評価し、高め合おうとしている。	ワーク 考査	ワーク 考査	発表
	文のねじれをなくす	●主語と述語を対応させる ●係り受けを整える ●一文を作る	a:主語と述語の関係を理解できる b:呼応表現や係り受けを使い分けることができる c:今までの学習を生かし、課題に取り組もうとしている	ワーク 考査	ワーク ワークシート 考査	ワークシート 発表
2	文をつなぐ	●文をつなぐ(1)～(3)	a:接続表現と指示語を理解できる b:文同士のつながりを意識し、ねじれなくつなぐことができる c:今までの学習を生かし、課題に取り組もうとしている	ワーク 考査	ワーク ワークシート 考査	ワークシート
3	表現をみがく	●表現をみがく	a:慣用表現や類義語の語彙力を高めることができる b:自身の意見を適切な文章で述べることができる c:　今までの学習を生かし、課題に取り組もうとしている	ワーク 考査	ワーク ワークシート 考査	ワークシート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度